

日本栄養士連盟副会長 澤谷 久枝

陽春の候、会員の皆様には益々ご壮健でご活躍のことと存じます。平素は当連盟運営に、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本部では、先日3月8日・9日にかけて第2回全国支部長会議を開催しました。今回は、2日間にわたり、十分な時間を確保したため内容の濃い会議が行われました。

連盟だより第10号では、役員選挙の結果報告、全国支部長会議及び情報交換会の内容を中心にお知らせいたします。

1. 挨拶 ～一枚の写真から学ぶ日本栄養士連盟活動の将来～

日本栄養士連盟会長 尾籠 悦子

今回の支部長会議では会長として最後の挨拶と思い、「日本栄養士連盟活動の重要性について」を重点に、パワーポイントを使用してお話をしました。1枚の写真を支部長の皆様にご覧いただいたのは、若い管理栄養士・栄養士に政治活動の必要性を伝える一資料にして頂きたいと思ったからです。この写真は、平成21年11月に発行された「社団法人設立50周年記念誌」の中で見つけ、当時の諸先輩、仲間の熱い気持ちを再び思い起しました。また、日本栄養士連盟顧問の神津博子先生がこの記念誌に投稿されている文章の中にも当時の思い出として書かれております。

昭和57年11月8日、日本栄養士会員が一致団結して「栄養士法改悪阻止総決起中央大会」を九段会館において開催し、栄養士会員2,000余名、国会議員100余名が結集しました。当時の日本栄養士会員数は25,436名で会員の8%が結集したことになります。私は当時45歳で福岡県栄養士会理事就任直後であり、全員が鉢巻姿で大いに盛り上ったのを覚えています。集会後は都道府県毎に県選出の国会議員に要望活動を行いました。この運動は、栄養士が団結の重要性を認識するとともに、各方面に栄養士の役割と意義を理解して頂く大きな契機になったと思います。



「栄養士法改悪阻止総決起中央大会」 昭和57年11月8日 東京・九段会館

出典：社団法人日本栄養士会設立50周年記念誌 平成21年11月

このことが、昭和 60 年の栄養士法の改正につながり、管理栄養士国家試験の全面実施、実務経験による栄養士試験の廃止、栄養士養成のカリキュラムの改正等が行われました。

若い管理栄養士・栄養士から、連盟の動きが見えなという声をよく耳にします。しかし、管理栄養士・栄養士自らが社会的評価、処遇等に改善の必要性を感じ、自分自身が積極的に行動する気持ちを持つことが重要であり、日本栄養士連盟会員として、法改正等のある時には一致団結して政治的解決に向け奮起できることと思います。

平成 24 年度からは日本栄養士連盟の新執行体制が誕生するのに伴い、政治活動を一層強力に推進して頂きたいと願うばかりです。

2. 第 2 回支部長会議について～報告～

副会長 澤谷 久枝

日時：平成 24 年 3 月 8 日（木）13 時～17 時 30 分 ・ 3 月 9 日（金）9 時～12 時

議題：

1. 平成 24・25 年度日本栄養士連盟本部役員選挙
2. 各地区(全国 7 ブロック)支部長会議報告
3. 平成 23 年度事業報告並びに平成 23 年度補正予算案承認の件
4. 平成 24 年度活動計画案並びに収支予算案

◎上記の 3. 4. の議案は承認されました。

※総会資料は、各都道府県支部に 5 月末までに発送する予定です。支部におかれましては平成 23 年度連盟会員への発送をよろしくお願いいたします。

◎役員選挙結果については、3 頁に掲載しました。

5. 連盟会費納入システムにかかる支部への情報提供について

平成 24 年度からは、会費は本部一括管理となりまので、支部への交付金と会員名簿については、5 月末、8 月末、11 月末の 3 回に分けて送付する予定です。なお、納付会員名簿は磁気媒体を使用して提供する計画です。また、新入会員並びに平成 24 年度会費未納会員対しては、8 月頃を目途に入会案内を発送するこことしてしております。12 月以降の会費納入者については、平成 25 年 4 月頃に送金しますので、支部では過年度会費扱いとするようお願いいたします。

また、自動振込をされる会員については、支部から本部の指定口座に振込をお願いします。

※本件に関しましては、事務都合上、若干変更になる可能性があります。近日中に文書等を各都道府県支部へ配信いたしますので内容をご確認くださいようお願い申し上げます。

6. 本部役員立候補者の定年制について

役員選挙については、今回は、立候補制で告示しましたが立候補者は無く、推薦委員会を立ち上げて、各ブロックから 7 名の候補者の推薦を受けました。平成 23 年度第 1 回支部長会議で、日栄の慣習に倣い、70 歳定年制を敷くことを申し合わせましたが、経験豊かなリーダーシップを発揮できる候補者の発掘が困難であることなど、多くの問題を残す結果となりました。

このため、70 歳定年制については、再度審議事項として取り上げられ、結果として、次回からは 75 歳定年制とすることが承認されました。

7. 会員増対策について

栄養士会々員数に対して、100%近くの会員を確保している各県の取り組み状況や、また反

対に会員減となっている各県の実情について意見交換を行いました。今後は、会員減を防止するために有効な活動をしている事例や、政治活動として国会議員とのセミナーなどを実施している支部の内容などの情報交換を活発に推進するなど、広報の充実に努めてまいりたいと考えております。

3. 新年度役員選挙結果 (任期 平成 24 年・25 年)

会 長	加藤 廣子	東京都	
副会長	富田 卓邦	愛知県	
副会長	斎藤 美加子	岡山県	
幹事長	澤谷 久枝	滋賀県	
財政部長	松井 直子	新潟県	
監 事	内野 さよ子	佐賀県	
監 事	青山 浩子	北海道	敬称略

上記の方々が選出されました。

4. 情報交換会 学士会館にて開催 日時：平成 24 年 3 月 8 日(木)18:30~20:00

幹事長 小坂 桂子

かねてから、支部長の皆様より「情報交換会」開催の希望があり、今回の開催となりました。当日は、公私ご多用の中、厚生労働大臣政務官・衆議院議員 藤田一枝先生(福岡県選出)と、民主党政策調査会長代理・政策審議会長・参議院議員 桜井充先生(宮城県選出)のご臨席を賜りました。また、日本栄養士会からは中村丁次会長並びに八鍬志郎事務局長にもご臨席いただきました。国会議員のお二方には、私たち管理栄養士・栄養士の業務内容や現状について、また、会への期待を込めた力強いご挨拶を頂戴いたしました。今後とも当会の課題解決に、ご理解いただける先生方との緊密な連携を図る活動を実践すべきと感じたことは、会場にいた皆さんも想いをひとつにしたものと感じました。

その後、九州地区を始めとして各地区幹事さんからそれぞれの地区の様子についてスピーチいただきました。そのなかで、関東甲信越地区の皆さんは、かつて連盟会員の国政選挙を支援した際の応援歌をご披露下さいました。

社会情勢が益々厳しくなっています昨今であるからこそ、連盟における役割は重大であります。そして、会員を国政へ…。課題解決および職域拡大のため、支部長会議にて選出された新役員を中心に、日栄との“絆”を大切にしながら、会員一同歩みを進めて参りましょう！！

5. 今後の予定

24.3.25	常任幹事会	千代田区・日本健康・栄養会館
24.4.13	会計監査	千代田区・日本健康・栄養会館
24.6.18	日本栄養士連盟第 37 回通常総会	T F T ビル 東京都

日本栄養士連盟本部事務局職員交替のご挨拶

小川 美奈

連盟事務局職員として約2年間勤めさせていただきました。

不慣れな私をあたたかく（時には厳しく）ご指導くださった皆さまに心から感謝いたしております。いたらない私がこれまで勤められたのは、会員の皆様はじめ各都道府県支部長様、役員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

末筆になりますが、日本栄養士連盟のますますのご発展と、皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。短い間でしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

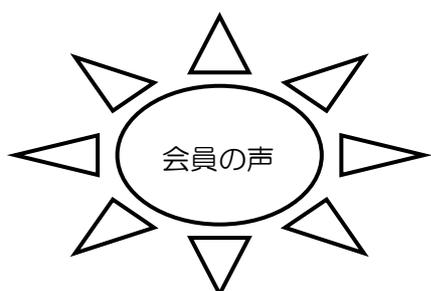
新しい事務局職員は、「小田桐 喜美子」さんです。引き続き何卒よろしく願い申し上げます。

会費納入のお願い(財政部長)

- ・ 平成24年度日本栄養士連盟会費につきましては、本部から直送させていただきました「会費払込取扱票」を用いて、お近くのコンビニエンスストアで納入くださいますようお願いいたします。
- ・ なお、会費払込取扱票につきましては、手違いがあり封書宛名面に「会費納入のお願い」と記載すべきところを、「請求書類在中」と標記したため、御不快な思いをさせて大変申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。
- ・ 平成24年度連盟会費は、前年度の1,000円から2,000円に値上げされておりますが、国政への会員の進出を図るための経費の積立など、今後の躍進を展望した予算も含まれておりますので、ご賢察をお願いいたします。

(栄養士連盟天声人語欄：水五訓 「出典：曹洞宗大本山永平寺官長語録」(財政部長)

- 一. 自ら活動して他を動かさむるは水なり。 ※「水なり」を管理栄養士・栄養士と置き換えてお読みください。
- 二. 常に己の進路を求めて止まざるは水なり。
- 三. 障害に逢ひて激して勢力を倍加するは水なり。
- 四. 自ら潔くして他の汚濁を洗ひ清濁合せ入るる量あるは水なり。
- 五. 洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり、雪と変じ霰（あられ）と化し凝（ぎょう）しては玲瓏（れいろう）たる鏡となり而かも其（その）性を失はざるは水なり。



《おねがい》

各支部で、皆様にお知らせしたい情報がありましたら連盟事務局宛に、FAXでもメールでも結構です、情報をお寄せ下さい。

FAX 番号 : 03-3295-5162

E-mail : info@eiyourenmei.jp

